

2021年2月25日

慶應義塾大学先端生命科学研究所  
SMBC日興証券株式会社

---

## 慶應義塾大学先端生命科学研究所とSMBC日興証券が 先端科学技術活用に関する包括連携協定を締結

---

慶應義塾大学先端生命科学研究所（所長：富田 勝、以下「慶大先端生命研」）とSMBC日興証券株式会社（代表取締役社長：近藤 雄一郎、以下「SMBC日興証券」）は、先端科学技術を活用した社会課題の解決及び地域社会の発展に貢献することを目的とした包括連携協定を本日、2021年2月25日に締結することをお知らせいたします。

慶大先端生命研とSMBC日興証券は、本包括連携協定による取り組みを通じ、未来社会にインパクトのある社会課題の解決を目指してまいります。

---

### 1. 包括連携協定項目

- (1) 先端科学技術の活用及び慶大先端生命研発ベンチャーとの連携による社会課題解決プロジェクトの創出
- (2) イノベーション創出人材の育成に向けた連携
- (3) 地方創生・地域社会の活性化等に関する連携
- (4) その他、広く社会課題の解決や地域社会への貢献に関すること

### 2. 包括連携協定締結の背景と目的

慶大先端生命研は、2001年4月、鶴岡タウンキャンパス（山形県鶴岡市）に設置された本格的なバイオの研究所です。最先端のバイオテクノロジーを用いて生体や微生物の細胞活動を網羅的に計測・分析し、コンピュータで解析・シミュレーションして医療や食品発酵などの分野に応用しています。慶大先端生命研はこのようにITを駆使した「統合システムバイオロジー」という新しい生命科学のパイオニアとして、世界中から注目されています。

SMBC日興証券は、2020年3月に新組織“Nikko Open Innovation Lab”を設置し、オープンイノベーションを通じた新たな価値創造・顧客体験の実現に向け新商品・サービスの開発を推進しています。この中で、「次世代テクノロジー×地方創生」をテーマに、産学官連携を通じた先進的かつ社会的意義の高い取り組みを発掘・創出する活動を積極的に行っております。

本包括連携協定を通じて、慶大先端生命研の持つ先端科学技術と、SMBC日興証券の金融サービスを組み合わせ、地方創生に資する取り組みを強化してまいります。

以上